

第164号

2026

1.15

# かわにし

議会だより



万事  
うまい年に

犬川小4・5年生のしめ飾りづくり P15に関連記事

令和7年度政策提言 ..... 4

町長に問う 4人が一般質問 ..... 6

いいね！かわにし 街かどインタビュー ..... 14

あれからどうなった 第6次川西町総合計画 ..... 15



川西町議会HP  
QRコード

# 新しいまちづくりにGO 第6次川西町総合計画可決

**ふるさと納税大幅増  
職員給与、人勧に対応**

12月定例会のあらまし

期で開催された。

第1回目に、川西町一般会計補正予算（第3号）の専決処分の承認について審議採決、条例3件、第6次川西町総合計画の策定について、川西町の特定の事務を取り扱う郵便局の指定について、指定管理者の指定2件、令和7年度各会計補正予算5件を一括上程し、各常任委員会および予算特別委員会に付託、請願2件を常任委員会に付託した。

第2回目に、4人の議員が一般質問を行い、ふるさと納税、クマ被害対策、こども子育て支援金、財政などについて質問した。

第4回以降、名常任委員会および予算特別委員会分科会を開催し、各議案を審査した。

最終日に、付託した条例3件、第6次川西町総合計画、各補正予算議案等を原案通り可決した。追加提案された川西町特別職の給与に関する条例、川西町一般職員の給与に関する条例、一般会計補正予算（第5号）他3件、国に対する意見書の提出、高橋輝行議員に対する辞職勧告決議をそれぞれ審議採決し閉会した。

なお、最終日の本会議中に、高橋輝行議員の不適切発言があり議場からの退去命令があった。

今定例会の傍聴者は5人だった。

# 令和7年度一般会計補正予算

会計別	歳入歳出予算	議決の内容
一般会計(第3号)	149億9256万円 3億7048万円を追加補正	全員賛成で可決
一般会計(第4号)	152億948万円 2億1691万円を追加補正	全員賛成で可決
一般会計(第5号)	152億5565万円 4617万円を追加補正	全員賛成で可決

## 一般会計補正予算の主な内容

補正予算(第3号)	ふるさとづくり寄付金	2億4698万円
補正予算(第4号)	人件費	1203万円
	除雪作業委託料等	5450万円
	町債償還金	1046万円
補正予算(第5号)	人件費	4542万円

詫び  
10月15日発の163号中P2での地方交付税は増額とありました  
が増額の  
まちがいでした。訂正してお詫び申しあげます。

かわにし 議会だより 第164号  
令和3年1月15日発行 (2)

# 質疑

# 總括質疑 高橋輝行 議員

**高橋** 9月定例会では、  
緑越金等を活用  
して繰上償還に加え財  
政調整基金の積み立て  
を行つたが、今後の考  
え方は。

**副町長** 財政調整基金へ  
の積み立てと繰  
上償還は、どちらも今  
後の財政運営にとつて  
重要なことであり、バ  
ランスを考慮しながら  
補正予算を提案したも  
の。財政調整基金への  
積み立ては、事業の財  
源として活用、繰上償  
還の財源としての活用  
も可能なので、今後の  
状況に応じて活用して  
いきたいと考えている。

条例

## 川西まちなかテラス条例

令和8年度から開設される川西町地域振興拠点施設「川西まちなかテラス」を公の施設として設置するもの。

川西まちなかテラス  
愛称 まちりあ

づくりに資する事業  
②観光情報発信および  
観光交流の促進に関する事業  
③賑わいに関する事業

**賛成多數で可決**  
**（反対1人）**

各会場使用料は個別に定める。

## 12月定例会の議決状況

議会基本条例の規定により賛否の分かれたもののみ、各議員の議案に対する賛否状況を報告する。

議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
議員名		船山 千鶴	鈴木 孝之	寒河江 寿樹	渡部 秀一	寒河江 司	吉村 徹	伊藤 進	神村 建二	橋本 欣一	高橋 輝行	欠員	遠藤 明子	鈴木 幸廣
議63号	川西まちなかテラス条例の設定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	△
議67号	指定管理者の指定について(各地区交流センターほか)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	△
議68号	指定管理者の指定について(川西町フレンドリープラザほか)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	△

他の議案はすべて全員賛成でした。○は賛成、×は反対、-は欠席。議長は賛否に加わらない。上記以外は出席者全員賛成。



# ふるさと納税をクマ対策に使えないか

**町長－箱わなや獣友会支援に充てる**

クマ対策にふるさと納税募集の考えは、**寄河江町長**が制度活用に向けて検討を進めている。寄付は、箱わななどの購入費用や獣友会支援に充てる。**町長**は、「ふるさと納税返礼品の新品目状況は」と述べた。



寒河江司 議員



ふるさと納税返礼品

**クマ対策にふるさと納税募集の考え方**

**塞江町長** クマ対策に特化した、返礼品無しのふるさと納税の寄付募集は。

**町長** 制度活用に向けて検討を進めている。寄付は、箱わなの購入費用や獣友会支援に充てる。

**塞河江町長** 沢牛の主産地であることが、大きなメリットになつてゐる。これら返礼品のバリエーションは、米どころであり、本町は米どころであり、米沢牛の主産地であることが、大きなメリットになつてゐる。これら返礼品のバリエーションは、

ヨンを増やすとともに、新たな返礼品事業者を募つて、全体の取扱量を増やしている。また、体験型の商品やオンラインクーポンなどを追加している。

町長 寄付額増大を考えるうえで地域おこし協力隊を起用する考えはあるか。

町長 専門的な知識や技術を持った人材が必ずしも応募するとは限らないことから、現時点では考えていない。外部人材活用については、総務省の地域活性化企業人制度に取り組んでいるところであり、本町での活用もあり、本町での活用も選択肢の一つで視野に

町長 市町村で銃猟なつたが、実常生活の用に所であること命身体に被害を緊急に講ずること、銃方法しか捕獲したこと、弾丸命財産に危害ないことを考動しなければが、いまだ發成はない。

町長 銃猟のクマ対策は考えていない。

を入れている。

**町長** 市町村長の判断で銃猟が可能となつたが、実施には日常生活の用に供する場所であること、人の生命身体に被害防止措置を緊急に講ずる必要があること、銃猟以外の方法しか捕獲ができないこと、弾丸で人の生命財産に危害を及ぼさないことを考慮し、発動しなければならないが、いまだ発動はしていない。

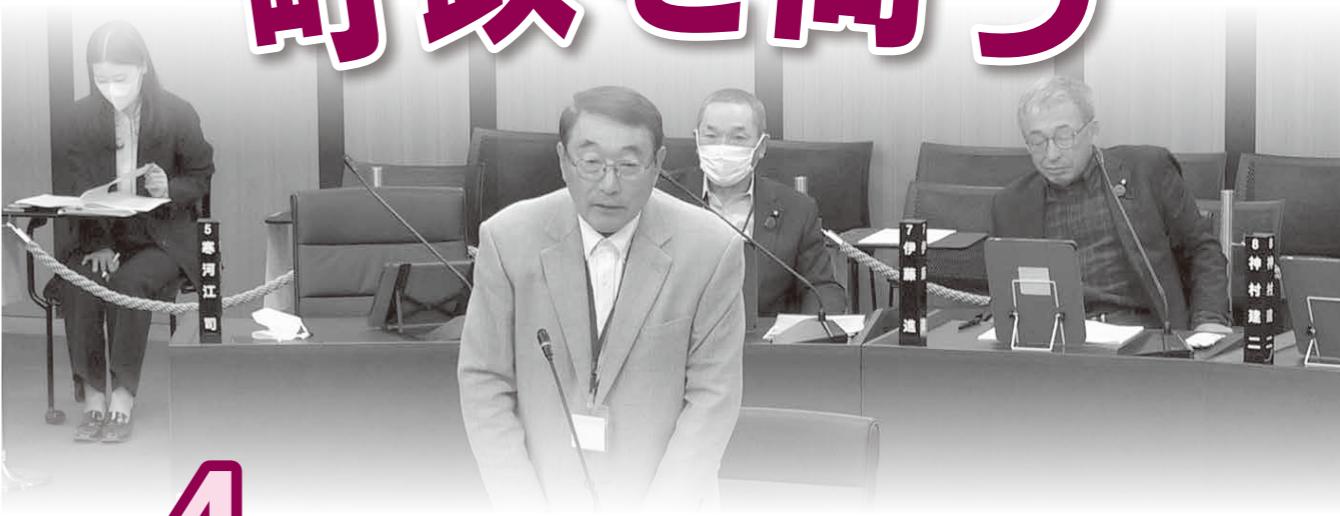
**塞河江** クマ対策で緊急銃猟の発動は。

**塞河江** 狩猟免許をもつ自治体職員の養成は考えているか。

**町長** 鋸刀法が関係してくるので、リスクと責任が個人にかかることとなり、慎重に検討して判断する必要がある。

加要望を行つた。

# 町政を問う



# 4人の議員がするどく一般質問

定例会第2日目に一般質問が行われ、4人の議員が町政について質問しました。発言順に掲載します。

P 7	寒河江 司 議員	① ふるさと納税 ② クマ対策
P 8	吉村 徹 議員	① クマ被害対策 ② 地域計画 ③ 物価高騰対策
P 9	橋本 欣一 議員	① 「こども・子育て支援金」制度 ② 企業誘致
P 10	高橋 輝行 議員	① 破壊活動防止法 ② 官僚のタイプ ③ 財政

一般質問は、議会ホームページの録画中継によって見ることができます。（<https://www.town.kawanishi.yamagata.jp>）  
白抜きの数字は掲載された質問。それ以外は誌面の都合により掲載できなかつたもの。

# まちの未来が見える（12月定例会の傍聴者は5人） 議会傍聴においてください どなたでも傍聴できます (事前連絡は不要です) 役場3階においてください 次回定例会は3月です

どなたでも傍聴できます  
(事前連絡は不要です)  
役場3階においでください)

定例会本会議、予算特別委員会はNCV、インターネットで生中継。議会ノエイスクックもご覧ください。



1



QRコード

# かわにしの ここが聞きたい

子育て

## 子ども支援金負担額は

町長 一 国保加入者で月300円程度である



橋本欣一 議員

橋本 少子化が進む中で、子育て支援はどうのような制度になるのか。

橋本 始まる子ども教育で支援金が各保険負担金に上乗せして徴収される。新たに負担が増えるが金額は。

橋本 令和8年度から始まる子ども教育で支援金が各保険負担金に上乗せして徴収される。新たに負担が増えるが金額は。

町長 国の試算によると、国保加入者はそれぞれ月額、8年

度で250円、9年度300円、10年

度350円である。それ

ぞれ、保険料と共に徴収する。

町長 医療保険者ごとに事前に案内がある。国保と後期高齢者医療保険の支援金の周知は1月下旬に送付の中に案内を入れる。また町



未来にはばたく子どもたちのために = 小松保育所

## クマ対策

一般質問



吉村 徹 議員

## \*ガバメントハンター育成は

町長 一 筒を扱うため慎重に検討する

吉村 国、県によるクマ被害対策パッケージを受けての対策は。

吉村 「緊急銃獵」での被害対策はどうのように取り組まれるか。

吉村 駆除の扱い手となる専門対策員（ガバメントハンター）の育成は。

吉村 教育現場におけるクマ対策について、児童生徒の通学時における安全対策は。

吉村 スクールバス送迎における乗降場所から、自宅までの対応はどうしている。

吉村 年末に向けた物価高騰対策は。

※ガバメントハンター = 獣獵免許を持つ公務員のこと  
深刻化する鳥獣被害（特にクマ被害）対策として、自治体が専門人材として雇用する動きが加速している

町長 対策パッケージに対する調査として、令和7年度野生鳥獣市街地等出没対策事業費補助金の追加要望調査があり、不要果樹伐採補助、クマ捕獲に係る必要備品などの整備について追加要望を行っている。

吉村 現在のところ緊急銃獵の条件を満たす事案は発生していないが、緊急銃獵の実施については、市民の安全を第一に、条件を満たした場合に、警察、県、獣友会などの関係機関、団体と協力しながら適切に判断していく。

吉村 獣獵免許を持つ自治体職員を養成するとなれば、当該職員の理解を得ながら業務としての獣の習熟が必要となる。また、銃刀法が関係し、銃を扱うことによるリスクと責任が掛かることとなり、その判断に当つ

吉村 各学校の対応と巡回、家庭への見守りや送迎の依頼、スクールガード、町当局へのパトロールなどの依頼をしている。

吉村 地域計画についての取り組みは。その他の質問

吉村 メディカルタウンの未開発地への誘致を中心に行ってい。企業側では人材不足が懸念され、誘致企業に限らず、町内企業でも課題となつており、高校生に対して、町内企業の魅力を紹介しピアールに努めている。一方、近隣市町では産業団地の造成計画などがあり、競合し誘致の停滞も懸念される。誘致を進めながらもベッ

※ガバメントハンター = 獣獵免許を持つ公務員のこと  
深刻化する鳥獣被害（特にクマ被害）対策として、自治体が専門人材として雇用する動きが加速している



箱わな設置



三重県名張市  
奈良県下市町

# 人口減少に伴う住環境整備と住民参加型予算

## 総務文教常任委員会

令和7年11月10日

12日、三重県名張市と

奈良県下市町の人口減

少

に伴う住環境の整備

と住民参加型予算に関する取り組みの先進地調査を行った。

名張市は三重県西部、伊賀地方に位置し、人口約7万2千人で、宿場町の歴史を持ついる。名張市の地域づくりは「住民主体・行政

支援」を軸に、全国的にも先進的な制度を築いてきたのが特徴である。特に「ゆめづくり地域交付金」や「自治基本条例」によって、地域が自ら決め、行政が伴走する仕組みを整えてきた。区長制度を廃止、15ある小学校区ごとに地域づくり組織に整理し、個性ある将来のまちづくりの将来像を定め、各地域で活動を行っていることに

支援」を軸に、全国的にも先進的な制度を築いてきたのが特徴である。特に「ゆめづくり地域交付金」や「自治基本条例」によって、地域が自ら決め、行政が伴走する仕組みを整えてきた。区長制度を廃止、15ある小学校区ごとに地域づくり組織に整理し、個性ある将来のまちづくりの将来像を定め、各地域で活動を行っていることに

支援」を軸に、全国的にも先進的な制度を築いてきたのが特徴である。特に「ゆめづくり地域交付金」や「自治基本条例」によって、地域が自ら決め、行政が伴走する仕組みを整えてきた。区長制度を廃止、15ある小学校区ごとに地域づくり組織に整理し、個性ある将来のまちづくりの将来像を定め、各地域で活動を行っていることに

支援」を軸に、全国的にも先進的な制度を築いてきたのが特徴である。特に「ゆめづくり地域交付金」や「自治基本条例」によって、地域が自ら決め、行政が伴走する仕組みを整えてきた。区長制度を廃止、15ある小学校区ごとに地域づくり組織に整理し、個性ある将来のまちづくりの将来像を定め、各地域で活動を行っていることに

支援」を軸に、全国的にも先進的な制度を築いてきたのが特徴である。特に「ゆめづくり地域交付金」や「自治基本条例」によって、地域が自ら決め、行政が伴走する仕組みを整えてきた。区長制度を廃止、15ある小学校区ごとに地域づくり組織に整理し、個性ある将来のまちづくりの将来像を定め、各地域で活動を行っていることに

かわにし議会だより 第164号  
令和8年1月15日発行

(12)

# 地域おこし協力隊 子育て支援策

## 産業厚生常任委員会

鳥取県北栄町  
鳥取県倉吉市

令和7年11月11日、鳥取県北栄町の地域おこし協力隊と倉吉市の子育て支援の取り組みについて先進地調査を行った。

北栄町は、平成17年10月に旧北条町と旧大栄町の合併により誕生した人口1万4千人の町で、鳥取県の真ん中・東西に位置し、農

業が盛んな町である。人口減少の影響を受け、農業就業人口の減少により高齢化、担い手不足が大きな課題となり、平成26年度から地域おこし協力隊を活用し、移住・定住・新たな担い手の確保を目的として導入していた。退任後も北栄町に新規就農者・別事業への就労となつて、定住率43・3%と高く本町と組んでいきたい。

鳥取県倉吉市

倉吉市は、鳥取県のほぼ中央に位置し、市域は県中部4町のすべてと接し、南西部は果菜類・野菜類の産地であり、東南部は温泉と城跡とともに一帯が県立公園となっている。

少子化の影響により、保育所および学校の再編や統廃合を行わない状況下であり、小児科

医の高齢化、減少傾向による医師・スタッフの確保、同様に保育士、児童厚生員の確保も厳しくなっている。子育て支援サービスの提供については、本町でも同様に少子化問題を抱えているが、保育所および学校の再編は喫緊の課題と捉えて、参考になる部分は検討し、より良いサービスの提供に活用していく。

かわにし議会だより 第164号  
令和8年1月15日発行

(13)



鳥取県北栄町  
鳥取県倉吉市



奈良県下市町  
(旧下市南小学校)は

下市町は奈良県の南半分を占める広大な吉野郡の北西に位置し、特に学校統廃合後の空き校舎の利活用について研修を行った。

KITO FOREST MARKET SHIMONICHI (旧下市南小学校)は、「峰のまなび舎」(旧広橋小学校)は、地元住民が「学び舎」を再生し、2010年代から法人化して、歴史を



かわにし議会だより 第164号  
令和8年1月15日発行

が中心となつたが、設立のノウハウや運営方法まで検証し、今後の本町での廃校活用にかかるとしていきたい。

両者とも、単なる施設利用にとどまらず、多様な機能を備えており、利用者の満足度を得られる施設運営であった。今回は施設見学が中心となつたが、設立のノウハウや運営方法まで検証し、今後の本町での廃校活用にかかるとしていきたい。

両者とも、単なる施設利用にとどまらず、多様な機能を備えており、利用者の満足度を得られる施設運営であった。今回は施設見学が中心となつたが、設立のノウハウや運営方法まで検証し、今後の本町での廃校活用にかかるとしていきたい。

# あれから…… どうなった！



度（2026年度）から  
令和12年度（2035年）まで  
の10カ年計画。

（基本計画）令和8年

度（2026年度）から  
令和12年度（2035年）まで  
の10カ年計画。

（基本目標1）

（生活環境分野）  
安心して住み続けられるまちをつくります。



多彩な人々が利活用 = 完成間近「まちなかテラス」

（基本構想）令和8年  
度（2026年度）から  
令和17年度（2035年）まで  
の10カ年計画。

は、「議会の議決を求める。」とされており、全員賛成で可決された。  
（基本構想）令和8年  
度（2026年度）から  
令和12年度（2035年）まで  
の10カ年計画。

（基本目標2）  
若者や女性、多様な人々が活躍するまちをつくります。

各分野の個別計画や施策を策定する際の基準となるもので、平成16年に施行された「まちづくり基本条例」では、「議会の議決を求める。」とされており、全員賛成で可決された。

（基本目標3）  
具体的な事業計画を示すもの。その時々の行政需要を勘案し、3カ年を期間とした実施計画を別に策定。毎年度、ローリング方式により見直しを図り、効果的な進行管理と事業推進を行う。

（基本目標4）  
（保健・医療・福祉分野）  
挑戦を支え、産業が発展し、稼げるまちをつくります。

（基本目標5）  
（人づくり、地域づくり分野）  
共に支えあい、健康に暮らせるまちをつくります。

万事うまい年に犬川小学校の総合学習で、米づくりについて田植から稲刈、脱穀までの過程を知る学習を行っています。日常的にワラを使うことは無くなってきたがいるが、「ワラを生活中で利用していたことを知ることも、地域を知ることも重要な学習につながることだと思います。今回はワラで縄を編み、しめ縄をつくり、地域のわら細工の方々から学び、貴重な体験になった。出来あがつたしめ縄は玄関に飾られ福と果報をもらしてくれるに違いない。

## 第6次川西町総合計画策定 『わたしもあなたも満たされるまち』 — 共に感じ、共に創り、共に生きる —



表紙の写真

## 「緑と愛と丘のあるまち」をまちづくりの基本理念とし、新たなまちづくりとして令和8年度から始まる第6次川西町総合計画が策定された。

0年度）までの5カ年  
にわたる前期基本計画。  
進捗や社会情勢の変化  
を踏まえ、後期基本計  
画を改めて策定する。

（実施計画）基本計画  
を実行していくための  
具体的な事業計画を示すもの。その時々の行政需要を勘案し、3カ年を期間とした実施計画を別に策定。毎年度、

（子育て・教育・文化・スポーツ分野）  
夢を育み、心豊かに、  
学べるまちをつくります。

（人づくり、地域づくり分野）  
人を育て、未来につなげるまちをつくります。

## 「緑と愛と丘のあるまち」をまちづくりの基本理念とし、新たなまちづくりとして令和8年度から始まる第6次川西町総合計画が策定された。

（人づくり、地域づくり分野）  
人を育て、未来につなげるまちをつくります。

# いいね！かわにし 街かどインタビュー

12月11日(木) しめ縫り体験学習(JA犬川) 21日(日)置賜農業高校演劇公演(フレンドリープラザ)にてインタビューしました。

**青木 忠和さん(犬川)**  
地元犬川小学校の4・5年生がしめ縫りづくりの体験学習に来てくれました。会員のみなさんは子どもたちから元気を貰い、和気あいあいのひと時でした。「いっぷく」と「だらん」の方言でおもてなしをしました。



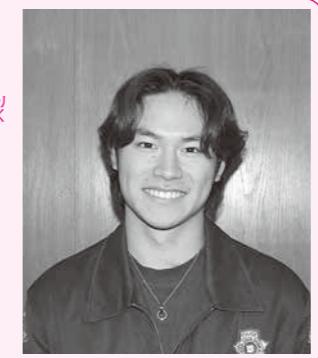
**島貫 オフヂさん(犬川)**  
楽しく活動していますが、作業よりお茶飲みが多いです。夏場は家の仕事で参加できません。ワラ仕事は得意ではないけれど、おしゃべりすることが元気の秘訣です。



**安部 そらのさん(川西中三年)**  
二人で勉強をしにきました。部活動ではホッケーをしていて、進学しても続けていきたいです。(琉海さん)  
もうすぐ卒業となるので、勉強も一生懸命ですが、友達と一緒に出をたくさん作りたいです。(そらのさん)



**川野 陸さん(山形市)**  
フレンドリープラザ内にあるピアノを30分の時間制限で自由に弾くことができます。現在は大学2年生。来年から研究が始まることで忙しくなる年。ピアノは趣味で気分転換になります。

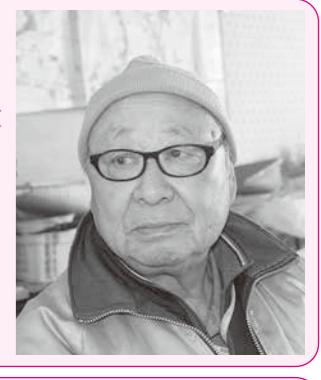


ご意見は議会活動に生かしていきます。

**須藤 仁さん(犬川小校長)**  
5年生(7人)・4年生(7人)で、春夏秋冬を通じて稻作を学ぶ総合学習です。児童たちが実際に田植観察、稲刈、脱穀による稻作の過程を知り、今日はワラで縄を編み、しめ縫りづくりを地域の人から学ぶ貴重な体験でした。



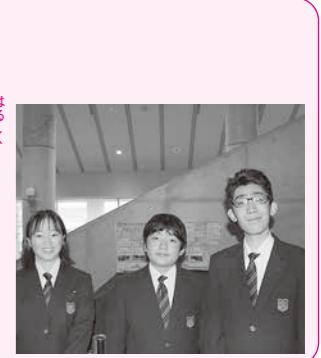
**中野 茂三さん(犬川)**  
わら細工会は、現在男性26人、女性2人で、70歳代後半から90歳の高齢者の集まりです。門松など、わら細工はさまざまです。文化伝承として古き良き伝統は後世に残していきたいものです。



**渡部 明子さん(吉島)**  
息子が演劇に出演するので応援にきました。地区大会や県大会に出場し、頑張っている姿に感動しているまます。部員が少ないのが課題ですが、仲間づくりにも取り組んでほしいと思います。



**松木 遥空さん(3年)**  
大きな舞台での演劇は今日が最後ですが、今後の活動が終わるのが名残惜しいです。先輩との活動が終わるのが名残惜しいですが、今後の活動にプレッシングを感じています。(蒼馬さん)  
やり遂げた実感で清々しい気分です。(雪さん)



# みんなの心が満たされる 住みよい町に

## ◆プロフィール◆

えんどう ゆかり  
**遠藤友香里さん**

川西町大字上小松  
家族は、夫と子ども2人、  
義父母の6人家族  
山形市出身  
趣味 カメラ、旅行

小松地区にお住いの  
遠藤友香里さんに川西  
町についてお話をお聞  
きしました。

### 一人の出会い

仙台市内で美容師や  
ブライダルプランナー  
などの仕事に従事して

いた頃、共通の友達を  
通じて知り合いました。  
連絡先を交換して、お

互いに話が盛り上がっ  
たのがきっかけです。  
私の実母と主人の母  
親が同級生だったこと

もご縁を感じました。  
親が同級生だったこと

13年目になります。  
町の印象は、のんび  
りのどかな雰囲気と、  
自然豊かな落ち着きの  
ある所だと思います。

長女（小4）と二女（年  
長児）の子育て真っ最  
中です。家から小学校

### 川西町に来て

と保育園のどちらも近  
いのでとても便利です。  
仕事面では、米沢市  
内の金融関係に勤務し  
ていて、新しい道路が  
できたおかげで通勤時  
間が短縮し非常に助か  
っています。

### 町に対し要望があ ればお聞かせください

近所に公園がほしい  
です。

また、町中に空き家  
も目立っていますし、  
人口減少が加速する今  
後、いつか我が子たち  
も大学や就職で県外に  
出て行つたとしても、  
戻りたいとしても、  
な、心が満たされる町  
にしてほしいです。

### 子育てで思うことは

義父母と同居してい  
るので、子どもたちの  
面倒や家事等、さまざ  
まな面で手伝ってくれ  
るので、安心して仕事  
をることができます。

**いただいた要望は町  
に提言していきます。**



初春や健やか吾子の笑顔かな

### 編集の後で

▼新年あけましておめ  
でとうございます。

「丙午年」の今年にあ  
やかって、「何事もウ  
マくいく」飛躍する明  
るい年になるよう願う

とともに、みなさんの  
ご多幸を祈念します▼

限られた時間で取材や  
記事の作成、写真撮り  
等、編集作業は産みの  
苦しみの連続です▼こ

れからも町民のみなさ  
んに愛読していただけ  
るよう努めて参ります。

（明子）  
発行責任者 鈴木 幸廣  
委員長 橋本 欣一  
副委員長 鈴木 孝之  
委員 伊藤 進  
副委員長 鈴木 孝之  
委員 伊藤 進  
委員 同 同 同  
アドバイザー（文章） 佐々木賢一  
アドバイザー（写真） 鈴木 浩之  
アドバイザー（写真） 山田 順一  
齋藤 文夫